

# 愛知学院大学歯学部倫理委員会

## 令和2年度第4回会議 次第

令和2年 11月5日(木) 15:00～

### I. 報 告

1. 令和2年度第3回倫理委員会議事録(案)
2. 委員長決裁について(4件)
3. その他

### II. 協 議

1. 委員長決裁案件について(上記報告の4件)の承認
2. 新規申請の審査(5件)
3. その他

歯学部倫理委員会 名簿

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
○	長谷川 義明	微生物学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
◎	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	杉田 好彦	口腔病理学講座准教授	〃	2019.12.1～2021.4.1
	長尾 徹	顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2019.4.1～2021.4.1
	野本周 嗣	外科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	2019.4.1～2021.4.1
	田 渕 雅子	歯科矯正学講座准教授	〃	2019.12.1～2021.4.1
	高木 敬一	法学部教授	規程第4条(3)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者	2019.4.1～2021.4.1
	黒神 聰		〃	2019.4.1～2021.4.1
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)研究対象の観点を含めて一般の立場から意見を述べることのできる者	2019.4.1～2021.4.1
	鏡山 典子	愛知教育大学教育 学生・国際課 なんでも相談室	〃	2019.4.1～2021.4.1
顧問	鈴木 慎太郎	法学部教授		2019.4.1～2021.4.1

令和2年度 第4回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

1	実施責任者	水野 辰哉
	研究課題	睡眠時無呼吸患者の口腔内装置による治療効果に関する研究
	概要	<p>閉塞性睡眠時無呼吸症候群(Obstructive Sleep Apnea Syndrome:OSAS)に対する治療には、減量療法や薬物療法他に積極的な治療である外科的治療法、経鼻的持続陽圧呼吸療法および口腔内装置(Oral appliance:OA)を用いる治療法があり、歯科で行うOAIによる治療法は軽度から中等度のOSASに対して行われている。当院でも平成19年度より医科と歯科よりなる診療チームを立ち上げ睡眠時無呼吸症候群の診療にあたっている。無呼吸の程度を調べる睡眠ポリグラフ検査の機器は紹介元医院によって異なるものの、OA装着前と装着後で同じ機器で測定するためデータを比較することが可能になる。</p> <p>本研究では、睡眠時無呼吸症候群で眠気やいびきを主訴として来院した患者にOAIによる治療を行い、眠気やいびきの症状と無呼吸低呼吸指数がどの程度改善したかを検討する。</p>
	実施責任者	竹内精司
	研究課題	ブラキシズムや顎機能不全の発症における咬合接触状態の病的役割に関する遡及的検討
	概要	<p>顎関節症やブラキシズムの病因要素としての咬合の役割について過去半世紀以上にわたって研究や調査が行われてきましたが未だ十分に解明されておらずむしろ咬合因子の役割を否定的にみなす傾向すらあるほどです。実施責任者の竹内は自身の臨床経験から平衡側における咬合接触と歯軋りや顎機能不全に強い関連性があるという仮説を持っており、歯科大学学生132人を用いた問診、咬合審査、咀嚼筋の審査などのデータを集めてきました。そして、その統計学的な解析と検定を行いました。その結果、平衡側における接触状態と歯軋りや顎機能不全との間に有意な相関関係があるとわかりましたので、retrospective studyとして論文をまとめ、投稿する準備を進めている。</p>
3	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
4	実施責任者	加藤一夫
	研究課題	S-PRGフィラ-配合歯磨剤からの無機イオン溶出量検討のための予備的研究
	概要	公表不可
5	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可

## 令和2年度第4回歯学部倫理委員会議事録（案）

日 時：令和2年11月5日（木） 15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：前田、長谷川、杉田、長尾、田渕、高木、黒神、柿田、鏡山、鈴木（顧問）  
（事務）日比、真新、玉置、永田

欠席者：池田、野本、松原、本田

開 会：15時00分

### 報 告

1. 令和2年度第3回倫理委員会議事録について  
委員長から、資料に基づき報告があり、原案どおりこれを了承した。
2. 委員長決裁案件について  
委員長から、研究等変更審査申請のあった1件、修正の上承認となっていた2件、条件付き承認となっていた1件について、申請書類等の回覧審査を行い委員長決裁による承認とした旨、報告があった。
3. その他  
なし

### 議 題

1. 委員長決裁案件について  
委員長から提議され、研究等変更審査申請のあった1件、修正の上承認となっていた2件、条件付き承認となっていた1件について委員長決裁で承認したい旨、説明があり、これを承認した。
2. 倫理審査について  
委員長から提議され、新規5件の申請があり、申請者から研究の概要及び実施計画等の説明を受け判定したい旨述べられ、これを了承した。  
次いで、申請者から資料に基づき説明があり、研究実施計画等について質疑応答があり、それぞれの申請課題について判定を行い、全会一致をもって次のとおり決定した。  
承認1件、修正の上承認2件、保留（継続審議）2件とした。
3. その他  
なし

### 次回委員会について

日時：令和3年1月28日（木）15時

場所：楠元キャンパス 基礎教育研究棟1階 第1会議室

閉 会：16時25分